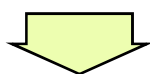


平成23年度 第2回 奈良市教育ビジョン懇話会

平成23年 11月4日(金)
奈良市教育センター
教育政策課

平成22年度奈良市教育ビジョンの施策評価

平成23年7月19日 第1回懇話会 最終報告(案)の検討



誤字・脱字等
修正

平成23年9月22日 定例教育委員会 施策評価の承認



一部変更箇所
あり

平成23年10月3日 定例校園長会 施策評価の概要説明

※ 現在、市ホームページの教育委員会の教育政策課のページに掲載中

前回の懇話会で質問等があった内容

- ① 情報機器の整備について
- ② 小学校ハローイングリッシュ事業の成果について
- ③ スクールカウンセラーの配置について
- ④ ALTの配置について
- ⑤ 学校保健委員会の未設置校について
- ⑥ 学校施設の耐震化について

※別紙資料で回答をまとめてみました。合わせて教育センターの利用状況(9月末まで)についても、資料に載せています。

前回の懇話会での意見(その1)

□ 教育ビジョンのPR・・・ホームページの充実

取手市立白山小学校「学校日記」

- 10月29日 5年 音楽(学びいっぱい)
- 10月28日 中学生のノート展(学びいっぱい)
- 10月27日 6年 清掃活動(きれいいっぱい)
- 10月26日 3年 日本の食べ物の旅(やる気いっぱい)

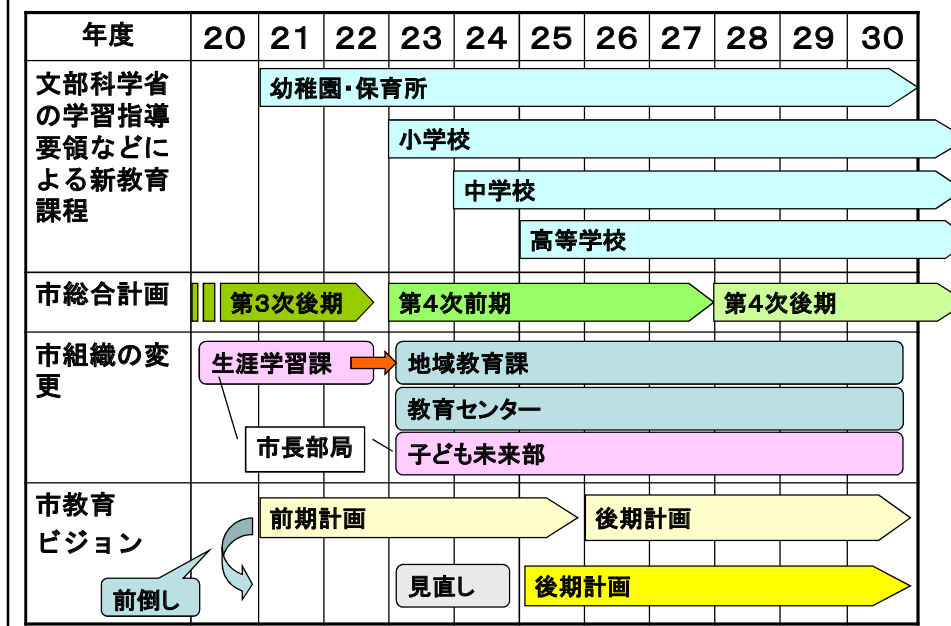
10月 中学生のノート展(学びいっぱい)

取手二中生のいろいろな教科の工夫されたノートが模造紙6枚分にわたり昇降口正面の掲示板に張り出されました。登校して立ち止まって掲示板に見入る子どもたちの中には、「中学生になるとこんなにノートのとりかたが上手になるんだね。」と、つぶやきながら感心している姿がありました。

前回の懇話会での意見(その2)

- 新教育課程への対応
 - ・コミュニケーション能力
 - ・理数教育
 - ・活用型の学力
- 市の機構改革による変更への対応
 - ・生徒指導の充実
- 情報機器の配備への対応
 - ・教育用パソコン・校務用パソコンの活用
 - ・50インチデジタルテレビ、電子黒板等の活用

「奈良市教育ビジョン後期計画」策定の前倒し



【国の動向】 H23.6.6 中央教育審議会に対して 「第2期教育振興基本計画の策定について」諮問

- 中央教育審議会では、基本計画部会を設置し、検討している
《検討のスケジュール》

H23年6月～ 7月 震災を踏まえた教育上の課題の整理

H23年8月～10月 教育政策の基本的方向性等のフレーム
ワークの構築

年 内 計画の基本的方向性(骨子)を作成する

来年度 基本計画本文を策定し、文部科学大臣に答申する

教育行政の方向性(イメージ案)

絆づくりと活力あるコミュニティの形成

学びのセーフティ
ネットの構築

社会を生き抜く力
の養成

未来への飛躍を支
える人材の養成

その他、 教育ビジョン策定時からの情勢変化

- 子ども・子育て新システム（幼保一体化等）
H23. 7. 27 少子化社会対策会議が「子ども・子育て新システムに関する中間とりまとめについて」を決定
※平成25年度に本格実施を目途に検討中
- 東日本大震災・・・防災教育
- 35人学級・・・小学校1年生(平成23年度実施)から順次拡大か？ 本市では、30人学級を幼稚園から小学校4年生まで拡大(平成23年度)、今後、小学校6年生まで拡大予定？
- 地域で決める学校予算事業・・・学校支援地域本部事業を通して、全中学校区に、地域教育協議会を設置、地域コーディネーターの養成が進む。
- 中学校給食導入の方向

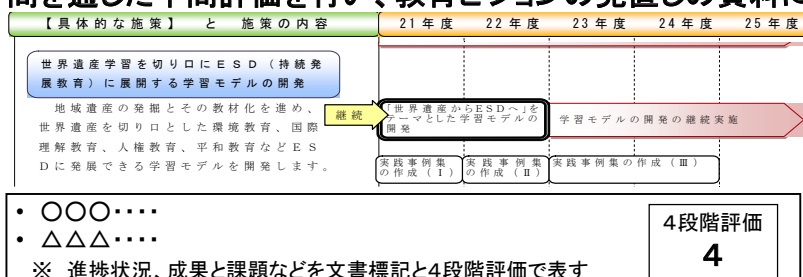
平成23年度(単年度)の評価と 平成21～23年度(3年間)の評価について

□ 平成23年度(単年度)の評価は、平成22年度評価と同じ

1-(1) 世界遺産学習の充実 ー奈良から未来につなげる教育の推進ー

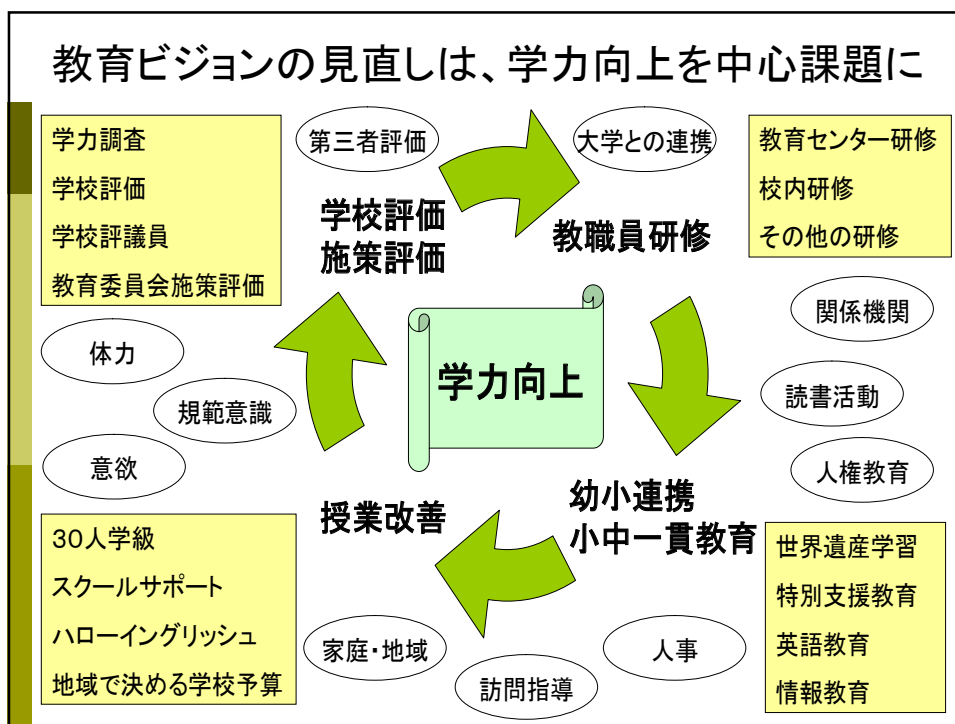
施策 通し No.	具体的な施策	平成23年度の目標(値)	取組状況・成果	平成23 年度評価	平成24年度の 目標(値)・改善点
1					

□ これまでの単年度評価に加えて、平成21～23年度の3年間を通した中間評価を行い、教育ビジョンの見直しの資料に



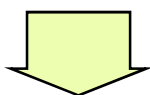
教育ビジョン後期計画策定にあたって

- 前期計画の3年間評価
- アンケート調査の実施(予算要求予定)
- 全国学力・学習状況調査等の結果
- 国や県の施策の動向
- 懇話会委員からのご意見



■今後の予定■

教育ビジョン懇話会準備会(教育委員会事務局で構成)において、平成23年11月までの達成状況をもとに「平成23年度教育ビジョンの施策評価(中間報告)」及び「教育ビジョン前期計画(3年間評価)」を作成する。



第3回教育ビジョン懇話会(平成24年2月)

- ① 平成23年度教育ビジョンの施策評価(中間報告)
- ② 奈良市教育ビジョン前期計画(3年間評価)
- ③ 奈良市教育ビジョン後期計画策定のスケジュール等

平成23年度 第2回奈良市教育ビジョン懇話会 次第

日時 平成23年11月4日(金)
午後2時00分～4時00分
場所 奈良市教育センター 8階
コミュニケーションプラザ

- 1 座長あいさつ
- 2 奈良市教育ビジョンの見直しについて
- 3 平成23年度 奈良市教育ビジョンの施策評価について
- 4 意見交換
- 5 今後のスケジュール
- 6 その他

第2回教育ビジョン懇話会に向けて

◆各委員からの質問及び回答

質 問	担当課	回 答
①情報機器の整備について今後どのようなになるのか。	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17～21年度は、小中合わせて23校に情報機器賃貸借契約を締結し整備した。平成22年度は、残りの45校の教育用PCを国の補助を活用して購入整備した。今後は、経年劣化、オペレーティングシステムのサポート期限切れ等の課題から計画的に入れ替えを実施したい。 ・校内LAN整備の無線化は、本市の情報セキュリティポリシーでも特別な場合を除き原則は禁止としている。しかし、国の基準では暗号化技術の採用などある一定の安全基準を満たしたものは構わないと変更されている。そこで、今後は市との協議、また中核市等先進地団体の調査も行い、試験的に取り組んでいきたい。 ・現在、教育用ソフトウェアは同一年度に教育用PCを導入する小学校、中学校に分け、同様のものを導入しているのが実情である。今後は中核市等先進団体の調査を実施し、モデル校指定による効果を行うなど、各学校の特色を出せるように検討していく。
②小学校ハローイングリッシュ事業の中学校での成果はどのようなになっているのか。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校ハローイングリッシュ事業は、中学校英語につながるような取組になればと考えている。 ・中学校の先生からは、「ハローイングリッシュが始まってから、子どもたちの英語に対するとっつきが良くなった。」という声を聞いている。また、「小学校段階で英語嫌いをつくらないようにしてほしい。」という要望もある。 ・これからも子どもたちが中学校でもっと勉強したいという意欲を持って進学できるように、教員研修を充実していくことが大切である。
③スクールカウンセラーの配置について今後どのようなになるのか。	教育相談課	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーは、昨年度中学校は全部の中学校に、小学校は19校に配置していた。今年度も昨年度と同様に配置している。今後もスクールカウンセラーの充実を図っていきたい。 ・教育センターでは、月～金曜日にカウンセラーが常駐し、教員の相談にも対応している。また、週2回（水・金）わかば教室で個別相談を行っている。
④ALTの配置は今後どのようなになるのか。	学務課	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、ALTが6名配置されている。主に小中一貫教育校に入っており（週に1回程度の授業）、その他の中学校には巡回で回っている（学期に2～3回）。 ・来年度は+3名（合計9名）増員の要望を出しており、小中一貫教育校以外にも配当時間数を増やすようにしていきたい。

<p>⑤学校保健委員会の未設置校があるが、何か理由があるのか。</p>	<p>保健給食課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会の未設置校（小学校1校、中学校1校）は、「平成22年度にPTAが設立されたばかりであり、将来的には設置の予定である。」「学校医が遠方である。」との理由で委員会が設置されていない。 ・今後は学校の実情に合わせて、設置の方向で進めていきたい。
<p>⑥学校施設の耐震化について現在の状況と今後の予定は。</p>	<p>教育総務課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所になっている体育館の耐震工事は、今年度中にほぼ全て完了する予定。 ・施設は、だいたい6割程度の耐震化率。今年度は昨年より2倍を超える予算をかけて、事業を積極的に進めている。27年度までに約9割に引き上げる予定。
<p>⑦教育センターの9月末までの利用状況について。</p>	<p>教育支援課</p>	<p>（研修係）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より初任者研修（小44名、中30名）、10年経験者研修（小11名、中1名）といった法定研修を奈良市で実施することになった。また、法定研修である初任者研修から10年経験者研修の間をつなぐ1（70名）・3（72名）・5年（34名）経験者研修と10年経験者研修以降の中堅教員を対象としたミドルリーダー研修（21名）も実施することにより、継続的かつ体系的な人材育成を行い、教員の資質向上を図っている。9月末現在、全研修講座実施回数（350回）の約8割近くを終えており、参加者数は延べ7,000名余りである。 <p>（研究係）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9階キッズ学びのフロアとして、土・日・祝日には親子等を対象とした「キッズホリデークラブ」等を実施し、平日には学校園を対象とした「わくわくセンター学習」を実施している。主な活動としては、キッズドームシアターでは、プラネタリウムを活用した天文教室、キッズサイエンスラボやものづくり工作室では、科学実験教室やものづくり工作教室を行っている。 <p>参加状況は、「キッズホリデークラブ」においては9月末までに延べ5,400人余りの親子が、「わくわくセンター学習」においては延べ900人余りの幼児・児童・生徒が参加し、様々な体験活動を行っている。</p> <p>今後、より多くの親子に周知するために、学校園に掲示してもらうための案内ポスターを配布したり、公共施設にも案内チラシを配置したりしていきたい。</p>

- 参考（文部科学省資料）：

4つの横断的視点から見た現在の政策の実施・検討状況について(案)

資料本文は、文部科学省ホームページからダウンロードできます。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo9/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2011/08/30/1310544_4.pdf